

# 漢方エキス製剤の 上手な使い方

～困ったときのこの一手～

2021年

8月14日(土)

9:00～11:00

WEB会場③

事後配信:2021年8月30日(月)～9月15日(水)

本セミナーのご視聴には学術講演会への参加登録が必要です。

参加登録方法につきましては、学術講演会のWEBサイトをご確認ください。

<https://convention.jtbcom.co.jp/71jsom/>

オーガナイザー

木村 容子 先生

東京女子医科大学附属東洋医学研究所

シンポジスト

戸成 智子 先生

さとこ内科クリニック

白井 明子 先生

金沢大学附属病院  
耳鼻咽喉科・頭頸部外科

網谷真理恵 先生

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科  
国際島嶼医療学講座 地域医療学分野/  
離島へき地医療人育成センター

仲田 幸世 先生

武南病院附属クリニック 整形外科

麻生 悠子 先生

東京女子医科大学附属東洋医学研究所/  
本町診療所

兵頭 麻希 先生

母と子のまきクリニック



第71回日本東洋医学会学術総会 スポンサーセミナー1  
第27回 東洋医学シンポジウム



# 漢方エキス製剤の上手な使い方 ～困ったときのこの一手～

本シンポジウムは、寺澤捷年先生、後山尚久先生と歴代コーディネーターが続けてこられた「こんな時には漢方を」の基本コンセプトを継承しつつ、「漢方エキス製剤の上手な使い方 ～困ったときのこの一手～」と題し、新たな目線で現代医療へエキス漢方を取り入れる実践的な方法を、エキスパートの先生方によるディスカッションを通してご提案したいと考えております。

今回は、産婦人科、循環器内科、整形外科、耳鼻咽喉科、心身内科、皮膚科・漢方診療科の先生方にシンポジストとしてご参加いただき、幅広い分野にわたる漢方治療の実際についてご紹介いただきます。

第Ⅰ部では、西洋医学だけでは十分に把握できなかった病態や治療に難渋していた疾患に対し、漢方エキス製剤を併用したことによって、より優れた効果や高い満足度が得られた症例をご提示いただき、日常診療における漢方療法の取り入れ方、文字通りエキス製剤の上手な使い方について話し合います。

第Ⅱ部では、頻用処方の中から半夏厚朴湯と柴苓湯を取り上げ、各科での使用経験を通して現代の“口訣”を考えてみたいと思います。この2処方は、気うつや水毒を伴う病態に各診療科で広く用いられており、今後ますます西洋医学との融合が注目され有効性が増していくと予想される処方です。各先生方が患者さんを診療するときに頭の中でめぐらせている考えを、できる限り具現化し皆様にわかりやすくお示しすることによって、明日からの臨床に少しでもお役に立てるシンポジウムを目指したいと思います。

オーガナイザー 木村容子

